

べつかい 議会だより

第104号

2023年2月

黙食でも笑顔で給食を楽しむ
(中春別小学校1年生)

特集

基幹産業が育むべつかいの恵み... 2 食育・地産地消は風土の要

別海町企業版ふるさと納税基金条例の新規制定について審議... 4

介護職員の充足状況および確保対策事業... 5

一般質問 (田村、中村、木嶋、横田、外山、宮越、瀧川、小椋の8議員) ... 6

定例会・臨時会のまとめ... 14

研修報告・議会のうごき... 15

シリーズ 町民に聞きました 健やかな成長に欠かせない学校給食の「いま」... 16



北海道別海町議会



基幹産業が育むべつかいの恵み 食育・地産地消は風土の要

別海町食育・地産地消 推進計画について

第2次別海町食育・地産地消推進計画の素案が示されました。

食は命の根源であり、人間が生きていくためには欠かせないものです。

別海の大地と海と気候、そこに住む人々の努力が育んだ産物を食べ・楽しみ・健やかに生きることは、まさに風土の要となります。

本計画は、国の食育基本法、道のどさんこ食育推進プランを踏まえつつ、別海町の特性に合わせた内容を盛り込み、平成30年に策定されました。

今回は、その見直しを図ったもので、令和5年度から9年度までの5力年を計画年度

としています。

これまでの計画に、持続可能な開発目標（SDGs）などの視点を取り込んだものとなっています。

給食を通じた食育と地産地消にもさらに力を入れており、安心で安全な給食の提供についても定めています。

委員会の調査では、朝食の摂取や家庭での食事形態に加



地元の食材を積極的に活用している学校給食

空き家対策について

令和4年7月に特定空家等に認定された建物を現地調査しました。

長年放置されており、残骸の飛散防止のため被せてあるブルーシートを何度も掛け直している状況です。

建物3階で半地下構造に

えて、フードロスや塩分摂取量、食事の内容についてもアンケート調査を行った方がいのではないかと、栄養教諭による各学校への指導回数を増やした方がいいのではないかと、などの意見が出されました。計画は、1月末までパブリックコメントを実施したのち、3月に計画を公表する予定となっています。

産業建設常任委員会の活動報告

なっているため、子どもたちが出入りできないような対策が必要です。

第2回別海町空家等対策協議会で所有者に対して勧告が行われています。

今後、所有者からの対応がなされない場合、行政代執行※により取り壊しが行われる予定です。

※行政代執行

義務者が行政上の義務を履行しない場合に、行政が自ら義務者のなすべき行為をなし、または第三者に依頼をし、その費用を義務者から徴収すること。

別海町酪農研修牧場について

令和4年10月26日に現地調査をしました。

現在、研修生は13名（7組）で、指導員2名、職員6名、作業員5名で運営されています。

搾乳頭数は、繋ぎ牛舎で60

頭、フリーストール牛舎で120頭の合計180頭を飼育しています。

草地が200㌔、デントコーンを30㌔で1日当たり1頭約30㌔の生乳生産をしています。

現在までに80組（町内に58組）の新規就農を支援しています。

研修牧場の開設から20年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、昨今の経営環境、原油高騰に加え農業資材の急激な値上がりにより、厳しい牧場経営を余儀なくされています。

経営の抜本的見直しを図る



老朽化も進み経営の方針転換が必要となる研修牧場

目的として「研修牧場持続的研修機能の強化を図る提案書」を策定し、

①令和6年度までに、経営効率の良い適正な牧場規模への縮小を行う。

②1億円の借入金金の元金償還を令和3年度から6年度とし、負担割合を町3分の2、農協3分の1で実施する。

③赤字額について、指定管理料ではなく負担金という形で支援する方向で調整を進める。

などの諸課題の解決に取り組んでいます。

秋サケ漁獲実績について

昨年11月21日に終了した秋サケ漁は、数量で対前年比190・1%の2186㍓、金額で対前年比158%の9億5187万円となりました。

昨年より好漁な原因は、4年前の稚魚の放流時の沿岸水温が適温で良かったことに加え、宗谷暖流の勢いが強く稚

魚がオホーツク海に向かったことなどが要因と考えられています。

しかし、記録的な不漁であった昨年との比較であり、依然として厳しい状況となっています。

農業委員の改選について

令和5年度は農業委員の改選があります。

4地区の推進委員会から26名、中立委員1名の27名が任命されます。

任期は、令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間です。

除排雪実施計画について

積雪降雪時期を迎え、除雪路線および延長計画が示されました。

路線数は、町道708路線で1025㌔、生乳搬出路64戸、要保護世帯79戸、公共施設171カ所です。

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 木嶋 悦寛 副委員長 佐藤 初雄 委員 小林 敏之・大内 省吾・横田 保江

別海町企業版ふるさと納税基金 条例の新規制定について審議

第4回定例会を中心に審議された主な委員会調査および報告内容

- 新型コロナウイルス感染症対策・地域情報化の推進
- 奥行臼史跡公園整備基本計画の策定について
- 成人式について
- 生涯学習センターピアノ購入について
- 企業版ふるさと納税基金条例の制定について（委員会付託案件）
- 北海道・三陸沖後発地震注意情報と防災対応
- 標津線代替輸送路線安定確保対策（西春別標茶間路線再編案提示）

別海町企業版ふるさと納税基金条例の制定について

企業版ふるさと納税とは、企業が地方公共団体の支援対象事業に対し寄付を行った場合、法人関係税の控除が受けられるものです。

企業にとっては社会貢献と税制の優遇を受けるメリットがあり、わが町にとっては、事業の財源を外部から確保できるメリットがあります。

本町では令和4年11月11日に「地域再生計画」の認定を受け、企業版ふるさと納税を受け付けるようになりました。



今年度65億円を超える予定のふるさと応援寄附

企業からの寄付金は、その年度に実施される事業のほか、積立てにより翌年度以降も充当することができるところから、この制度を効果的に運用するための基金条例が必要です。

委員会の審議では原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「成人式」から「はたちのつどい」（仮称）へ

これまで行われてきた成人式を18歳で挙行するための段階的な日程が、令和4年1月号の広報別海に掲載されました。しかし、町民のほとんども大きく、第2回定例会での一般質問をきっかけに町民アンケートが実施されました。

その結果を受け、18歳に移行するとした成人式をこれまで通り、毎年1月7日に「はたちのつどい」（仮称）として開催することに決定したものです。

ただし、令和4年度に20歳を迎える人は令和4年12月25



みなくるでは初開催となった成人式の様子

日に、移行措置により19歳を迎える人は令和5年1月7日に「成人式」として実施されています。

来年度はすでに19歳として成人式を終えていることから空白年となり、令和6年度からは1月7日に「はたちのつどい」（仮称）として実施されます。

成人式について議決が必要ではありませんが、町の政策の方向性が問われる重要な案件であり、あらためて「広聴・傾聴・対話」の重要性を認識させられる一件となりました。

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 今西 和雄 副委員長 外山 浩司 委員 戸田 憲悦・瀧川 榮子・宮越 正人

介護職員の充足状況および 確保対策事業

官・民事業所とも、介護職は人員基準を満たし日常業務が行われています。

しかし、余裕を持って対応するにはほど遠い現状です。こうした現状から、町では

介護職員確保対策を進めるために、各民間事業所に対してアンケート調査を実施し、現況の把握に努めています。

また、別海高校を訪問し、給付型奨学金や初任者研修について説明を重ねています。

当委員会から「中学生の職場体験に介護体験を」という意見に対して、今後協議するとの返答がありました。

今後、介護事業者を中心に「介護サービス事業者連絡協議会」を早急に立ち上げていただき連携を図っていきます。事業者個々の取り組みについては、介護職員確保対策事

業を活用してもらい、課題解決に向け協議会で全事業者と連携して取り組んでいきます。介護職員確保は喫緊の課題であり、今後も継続調査していきます。

別海町介護従業者就業支援補助金

補助金の種類	支給額	備考
新規就労継続補助金	就労から1年経過 50,000円 就労から2年経過 50,000円 就労から3年経過 100,000円	左記に定める就労年数を経過した日から、2ヶ月以内に補助金交付申請を行うこととする。
復職継続補助金		

介護福祉士、介護支援専門員、看護師及び准看護師、介護職員初任者研修修了者、実務者研修修了者、旧2級ヘルパーなどが対象となります。

別海町奨学資金支給

資格区分	支給額	備考
介護福祉士	月額 60,000円以内	卒業後5年以上町内の医療機関および介護事業所に就職の義務

町立別海病院の経営状況

町立別海病院で策定されている経営強化プランが、令和5年度末までに更新されます。過去に町立別海病院経営を判断するため、人口規模などが同程度の町立芽室病院の経営を参考にしていました。

しかし、周辺環境など大きな違いもあり、単純に参考とするのが難しかったことから、今回の策定にあたり、これまでの反省や決算審査での指摘



コロナ禍で一生懸命診療に当たる別海病院

も踏まえ、コンサルタント導入の検討に至りました。

委員会は経営強化プランの作成状況を注視しながら、安定的な医師の確保についても調査していきます。

新型コロナウイルス 感染症対策

オミクロン株対応ワクチン接種対象者への接種券発送は11月中旬に概ね完了しました。12月末の接種完了に向け、体制を整えています。

今まで同様、接種は町立別海病院で行っていますが、コロナ病床の対応・発熱外来の対応・通常診療対応など、限られたスタッフの中で対応しています。

町民の一層のご理解とご協力をお願いします。以上の報告を受け、委員会としてもその状況を受け止め、調査を継続していきます。



議員8人による一般質問

質問 2024年度に向けた デジタル教科書の導入準備は



田村秀男議員

質問 デジタル教科書の導入準備と令和2年度から7年度までの「別海版GIGAスクール構想」の進み具合は。

答弁 導入に向けて国の実証事業に町内の全ての学校が参加しており、本年度は、全小・中学校の英語に加え、芸術科目から1・2教科を各学校で選択して実施している。

また、本町独自で各教科書会社の担当者を招き、デジタル教科書を使用するに当たって不安を抱えている教員を中心に、実体験や課題などのワークショップを実施する研修会を行っている。

回答の要約

本町の全小中学校で英語および音楽や美術などの科目から1・2教科を各校で選択し、国の実証事業に参加して積極的に準備が進んでいる。

構想は、町内全ての学校でタブレットを持ち帰っての家庭学習や非常時のオンライン学習をすでに実践しており、活用、定着に向けて順調に進み、計画を上回る進捗状況になっている。



紙の教科書とデジタル教科書

質問 デジタル教科書のメリットとデメリットの認識は。

答弁 最大のメリットは、これまで紙の教科書と別に授業に必要なっていた音声教材や映像資料などの補助教材の機能が、教科書の該当ページを見ながら即時に参照できる点である。

さらに、グループ協議、発表資料の共同作成など協働的な学びを展開することができ、点が効果的と認識している。特別支援教育にも効果的な活用ができ、個別に最適な学びを追求していける。

授業の質の向上や教員の業務負担軽減にもつながり、働き方改革の一助にもなる。

一方、子どもの視力低下など健康への影響があることも否めず、個人情報管理やネットモラルなどのセキュリティの問題については、今後も教育委員会から各校において適切に対応するよう指導する。

質問 本格導入に向けて学校側の体制づくりは。

答弁 これまでは導入初期段階であり、機器そのものの対応に重点を置いていたが、これからは各校における職場研修を中心に、学び・活用を試みるなど教員向けの研修や授業改善に係る人的支援に移行し、児童生徒の学習そのものの充実を図りたい。

質問 「すべての人にグローバルで革新的な入口を」という意味が込められている別海版GIGAスクール構想やデジタル教科書導入後の教育効果は。

答弁 ふるさと別海に学んだ子どもたちは、生涯この別海町をふるさとと思い、お互いに手を取り合ってまちづくりを真剣に考えることができ、人材に育っていくと考えている。



詳細はこちらからご覧になれます

議員8人による一般質問

質問 日米共同訓練でのオスプレイなどの飛行実態をつかんでいるか



中村忠士議員

質問 今年10月に日米共同訓練が行われ、矢臼別演習場と西春別駅前の場合外離着陸場が使われた。

駅前や西春別の市街地上空をオスプレイや大型輸送機など飛行したが、ルートや高度などを町として把握しているか。

例えば10月7日、離着陸場を離陸した自衛隊ヘリが12時40分頃、西春別市街のむらい館上空を飛行したという目撃情報があるが、把握しているか。高度はどのくらいだったか。

答弁

把握していない。



市街地上空を不安定なヘリモードで飛ぶオスプレイ

回答の要約

町の職員を配置し確認を行った。

質問 10月8日、大型輸送機が場外離着陸場に15時40分頃着陸し、16時24分に西春別駅前市街地方向に向かって離陸した。

町として把握しているか。

相当低い高度で市街地上空を飛んだが、その点での調査はされているか。

答弁 目視で確認しているが、正確な数字としては言えない状況である。

質問 オスプレイは今年3月と6月に墜落事故を起こし、9名犠牲になっている。その後、エンジンとローターをつなぐクラッチの不具合が見つかっている。町長の認識は。

答弁 詳しい情報は把握していない。できるだけ正確な情報を集めたいと考えている。

インボイス制度にかかわる実態調査は

質問 インボイス制度については、日本商工会議所や日本税理士連合会などが制度の凍結や延期を求めている。

中小企業家同友会全国協議会は、「中小、小規模事業者に

とって死活問題」と言っている。インボイス制度は来年10月スタートという予定になっているが、町内の業者がどういう影響を受けるかなどを町として調査、研究、状況把握をし、対策を打つ必要があると思うが。

答弁 国の制度であるので、町として対象事業者数など実態を把握することは困難だ。町としても広報を含めて情報提供など対応していきたい。

質問 国はインボイス登録を3月中にと急がせているが、9月末までに申請してもよい。また、申請も取り消しができると登録期限の特例があることや、そんなに急ぐ必要はないことを周知することはどうか。

答弁 税務署は特にスピードをあげて取り組んでいる。情報提供のあり方について検討していきたい。

日米共同訓練もインボイスも、町としての調査・研究、実態把握があまりにも不十分です。

質問を終えて



議員8人による一般質問

質問 訪問介護人材確保に 思いきった対策が必要では



木嶋悦寛議員

回答の要約

介護サービス事業者で構成する連絡協議会を設立し課題への取組を進めたい。

質問

訪問系介護サービスの現場での人材不足は深刻な問題となっている。

このままでは必要な介護サービスを使えないという重大な問題が起きることになる。

町では訪問系介護サービスが立ち行かない状況になっている現状についてどのように認識しているのか。

答弁

現在は、利用を希望する全ての方にサービスを提供することができているので、訪問系介護サービスが立ち行かない状況とは認識していない。しかし、要介護認定者が年々増加傾向にあり、介護を必要

とする方々に安定的にサービスを提供するためには、さらに介護サービス事業者と連携・協力し、人材確保に向けた様々な取り組みを継続していくことが必要と考えている。

質問

介護従事者確保対策事業の取り組みによる効果は。

答弁

訪問介護事業所については、新規の就労に結び付かず、思うように効果が現れていない状況だ。

質問

介護員確保に一番大切なのは各事業所そろって給与水準だと答えている。

責任が重いわりに給料が伴っていないというのが現場の声だ。

思いきった対策が必要だ。

答弁

人材確保に向け、町が主体となって介護サービス事業者で構成する連絡協議会を設立し、協議会と町が連携して様々な課題の解決に向けた具体的な協議や取り組みを進めていきたい。

基準の職員数を確保していれば、それで何とかなると思っていないし、基準以上の職員を抱えて運営されている民間の苦労はよくわかっていて。

R4. 11. 17現在

■町内訪問介護4事業所

介護員平均年齢	54才 最高齢75才
介護員充足度	少し不足＝2社 全く不足＝2社
介護員募集	応募なく、人材確保 困難＝4社とも
最も重要な人材確保要件	給与水準＝4社とも

人材不足に関するアンケートから(筆者作成)

民有地除雪の 仕組みづくりを

質問 個人宅の除雪を引き受けてくれる人の情報を集約し、必要としている人に提供する。

また、その取り組みへの助成や機械の貸与など「協働によるまちづくり」の視点で、自助・公助・共助の機能を高めていくことができれば、より良いまちづくりにつながると思わないか。

答弁

地域住民の高齢化が進むなど、これまでの自然発生的な共助だけでは対処できない課題が生じ始めている。

この課題に対して「機能的な共助の仕組みづくり」が求められ、その仕組みに対し行政が支援を行う「公助」、これが今後の住み良いまちづくりに欠かせないことは、町としても強く認識している。

町内にどのような除雪の団体事業者がいるのか、早急に確認したい。



詳細はこちらからご覧になれます

議員8人による一般質問



前回調査で、保護者は84%の割合で給食の提供を希望

質問

高校生への給食提供で 子育て支援を



横田保江議員

質問 高校生への給食提供について、今回で4度目の質問となる。

前回の質問の中で、「令和7年度には、高校生と教職員を含めた約360食の提供が給食施設稼働能力としては可能となる」との前向きな答弁が

回答の要約

令和5年度に再度アンケート調査を行い、給食を求める要望があれば協議を進め、しかるべき対応をしていく。

あり、非常に心強く感じた。その後、検討を進めていると思うが、現状はどのようなになっているか。

答弁 給食数を提供することが可能となるのは、令和7年度になる見込みである。

給食センター建設に係る補助を受けた文部科学省、北海道防衛局とは、協議を継続している状況にあり、いっそう踏み込んだ協議を行う必要があると考えている。

来年度以降、高校側の校舎の整備、食数の管理などの人員体制などを踏まえ、別海高校や道と協議を進めたいと考

えている。

給食センターにおいても、給食費の徴収、運搬体制の整備や食缶などを増やしたり、除菌スペースの確保、また、財政的な問題など、様々な課題もあるので、関係機関と十分な調査・協議・検討を行いたいと考えている。

質問 コロナ禍で、高校生の給食提供のニーズが高まるなど状況は変化している。

アンケートの実施が再度必要だと考えるが。

答弁 教育委員会においては、コロナ禍により高校生の給食提供のニーズが高まっていると認識していない。

しかし、令和2年度にアンケート調査を実施して以来、令和5年度に高校支援事業全体に関するアンケート調査を実施する予定なので、その中で給食提供に関する調査も行う予定である。

質問 令和5年度にアンケート調査を行って、その後、給食提供のニーズが高ければ協議を行うということか。

答弁 令和5年度に行うアンケート調査で、どのような回答の結果が出るかわからない中で、予想の話はできないが、議員が言われるように、要望が高ければ当然そのような議論もしていかなければならない。

職員は事務レベルでその関係の協議はしているので、今後しかるべき対応をしっかりとやっていきたい。



給食センターでの調理風景

食によって健全な身体と心が育ち、学ぶ意欲と知恵が湧く!!

質問を
終えて



議員8人による一般質問

質問 ふるさと納税を活用し 子どもたちの運動公園などを



外山浩司議員

質問 コロナ禍になりゲー

ムなどの時間が増える子どもたちがいる一方、友達と外で遊びたい、部活動の練習をしたい、自転車に安心して乗りたい、などの子どもたちの声を聞く。

ふるさと納税を活用して運動公園などの造成はできないか。



休日の友達との時間（中春別ヘルスパーク）

回答の要約

建設場所や財源の確保など協議が必要である。ふるさと納税は恒久的なものではない。既存施設などに追加などを検討していきたい。

答弁 ふるさと納税の財源は恒久的ではない。

第7次別海町総合計画に基づき改修などを実施し、既存の公園などに機能を追加するなど検討していく。

質問 コロナ禍になり全国

的に不登校者数が増えているが、不登校者数や感染回避のために30日以上休んだ実態は。

答弁 令和元年が26名、2年が12名、3年が29名。感染回避のための欠席はない。

質問 休んだ児童生徒への対応は。

答弁 町独自の支援シートの活用、スクールカウンセラーやタブレットによるオンライン授業などを活用している。

質問 学校行事で来賓者の出席が中止されているが、入学後に備え、学校関係者だけの出席を奨励しては。

答弁 学校と協議を継続して検討していく。

登下校時における Jアラートへの対応は

質問 先日、登校時にJアラートが鳴り、子どもたちが戸惑った様子だった。

危機管理の1つとして、学校・家庭への対応は。

答弁 平成29年に「Jアラートが発令された際、対応方法を整理し、学校・保護者・スクールバス関係者に周知している。10月に再度、関係者に通知した。

質問 今回は登校時間であり、交通安全指導員が対応してくれていた。

「コンビ二への避難なども考えられるが、今後の対応は。

答弁 関係機関と連携して安全確保に努めていく。

部活動指導者の地域 移行について

質問 来年度から部活動の指導を地域のスポーツクラブや民間事業者に委ねる地域移行について、本格導入の提言がスポーツ庁有識者会議からあった。

今後の方針については。

答弁 様々な事情を抱える学校現場や地域において、部活動改革を進める「選択肢」を示したものである。

複数の方法を組み合わせることで、生徒や保護者などの理解を得ながら推進していく。



詳細はこちらからご覧になれます

議員8人による一般質問

質問 教育施設再整備、特に整備が急務な スケートリンクと教職員住宅は



宮越正人議員

回答の要約

町内に9カ所あるスケートリンクは、子ども達の成長のみならず、町民の健康の維持増進に寄与してきた。教職員住宅を含め、第7次別海町総合計画により順次整備して行く。

質問

現在の教育関係施設は、上杉・佐野両町長時代に、財政難の中にあっても、広く教育の振興に思いを馳せ整備されてきた。

本町教育界の栄華は、その遺産といっても過言ではない。しかし、老朽化により再整備の必要な施設が増えてきている。

特に著しく老朽化している施設に、町営スケートリンクと各地区に点在する教職員住宅がある。

今後は、広く関係者や利用者、町民の皆様の意見を聞きながら、早急な再整備を行うべきと考えるが。

答弁

町内には9カ所のリンクがあり、冬期間のスポーツ施設として、子ども達に限らず町民の健康の維持増進に寄与してきた。

本町にとっては、大変重要な施設であると認識しており、その造成や維持管理に関わる保護者や指導者が果たしてきた役割も充分理解している。

整備は、令和6年度に調査設計、令和7年度に建設工事の予定としている。

現状の把握に努め、各関係団体や関連部署と建設場所や整備規模について連携協議し、具体的な検討を進めていきたいと考えている。

質問

町内各地区に点在する教職員住宅は、整備が遅れ、良い住宅環境を求めて他町から通勤する教員も多いと聞いている。

町を上げて人口減対策を模索している中、教員の要望を調査し住宅を整備して、本町の住民になってもらうのはどうか。

また、教員住宅の整備は、町内の建設業者も多く参入できるため、商工業の振興にも寄与できると考えるが。

答弁

教育委員会では、現在136戸の住宅を保有しており、教員の町外からの通勤者は101名で、内訳は58名が自宅通勤、43名が賃貸住宅からとなっている。

1人でも多くの教員に本町の住民になってほしいと考えているが、服務規程上は、勤務地に居住する義務はない。

特に若い教職員は、空き住宅があっても生活環境や利便性を重視して、近隣町に居住

しているケースもある。

古い教員住宅が多いが、各校の校長などからは、住宅が他市町と比べて著しく悪いという意見は聞いていない。

しかし、学校運営上、一定程度の整備は必要なことから、財政上の理由により改修や補修を見送ってきた空き住宅などを第7次別海町総合計画により計画的に整備を進める。

その際、教職員からの聞き取り調査も行い、利用者目線からの整備に努めていきたい。



本町教育の栄華を支えてきた施設は、再整備の時を迎えている！

質問を
終えて

各施設はあるだけで安心して居たように感じています。本来の目的達成のため再整備は必要ですね。



議員8人による一般質問

質問 貸付型奨学金利用の若者への支援は



瀧川 榮子議員

回答の要約

令和5年度から制度実施に向け、準備を進めている。

質問 以前の質問の回答で、Uターンや貸付型奨学金を利用した人が、別海に戻るという選択をした場合、まちづくりの施策として制度設計を進めていきたいと答弁があった。制度設計はどの程度進んでいるか。

また、職種の縛りへの説明が必要ではないか。

答弁 町内出身の学生に限らず、Uターンする新卒者などで、町内事業所に就職した方に対し、就業奨励金の支給による支援の準備を進めている。

本町の奨学金だけでなく、

他の奨学金を利用して進学した方がUターンで本町に移住し、町内事業所に就職した場合、返済しなければなら

ない奨学金の全部または一部を支援する施策についても、令和5年度から制度実施に向け準備を進めている。

新しい制度では、職種にこだわらないで支援する。

新年度予算編成作業において内容をさらに詰め、成案する。

給食費の無償化は

質問 給食費を無償化する

自治体が増えている。国（文科省）からは自治体の判断で

食材費増加分に臨時交付金の活用が可能との通達があったが、交付金利用はどのように検討したか。

答弁 交付金活用については子育て支援の観点から検討・協議を行った結果、「子育て世帯応援給付金給付事業」として1人につき3万円を給付することとし、子育て世帯への包括的な負担軽減策を講じた。

質問 無償が理想だが、無理であれば補助の拡大や多子世帯への減免など考えられるが。

答弁 低所得世帯などは就学援助制度により負担軽減もされている。多子世帯への減免については子育て支援の有効な施策の一つと考え、今後、研究したい。

えんたいごう 掩体壕の補修について

質問 掩体壕は令和3年11

月に別海町歴史文化遺産に認

定された。

掩体壕は戦争時、自軍の戦闘機を敵の爆撃から守るため作られた軍事施設で、劣化が進んでいる。劣化を防ぐことが必要と考えるが。

答弁 建設から約80年が経過し、周辺および上部に樹木など生育している。

保存上はもちろん、見学する上でも支障があると認識している。

今後、所有者と協議し、了解が得られれば整備に向け検討を行う。



樹木などが生育している掩体壕



詳細はこちらからご覧になれます

議員8人による一般質問

問 別海町の有機系バイオマスの 再資源化は



小椋哲也議員

回答の要約

酪農、水産、住民生活各々の対策に力を入れながら、横断的な取り組みを近隣自治体との連携を含め検討していく。

質問

酪農産業における家畜ふん尿の循環について、バイオガス発電の事業化を産官連携のもと実施してきた。

稼働直後は問題も多かったが、現在は技術的に安定した。

しかし、事業全体では、原料確保や消化液の利用促進、輸送問題など課題は多い。

個々の事業体が解決する問題も多いが、行政としてどのように関わっていくのか。

答弁

家畜ふん尿が環境に与える影響を十分に認識しながら、法および条例に基づき基本的かつ総合的な施策を行うのが役割と認識している。

バイオガスプラントの重要性は、今後高まると判断しているため、個々の事業体の取り組みのサポートや関係機関との連携、周辺自治体との広域的なアプローチなど、段階的に取り組んでいく。

質問

本町では、水産系加工残さなどを、水産系副産物再資源化施設にて肥料化する事業を行なっている。

しかし、ホタテのウロに含まれるカドミウムが問題となり、ウロの受け入れを止めざるを得ない状況となっている。稼働率が下がることで施設の運営は厳しい状況となっている。

おり、利用者である水産事業者の負担は大きくなっている。今後の施設の位置付けと、ホタテのウロについての対応についてどう考えているか。

答弁

地域で排出された漁業残さ物を地域で処理するところが、資源循環型社会の推進を図る上で必要な施設。今後、も維持運営を行う。

ホタテウロに関して、現在、各事業者が域外の処分場に持ち込んで処理しているが、

今の輸送費用の増大なども加味し軽減措置を検討する。

質問

住民生活から排出されるゴミの焼却に関して、生ゴミが大きな負担となっている。

生ゴミを堆肥化することで、燃やすゴミの分量を大幅に削減し、焼却施設を持たない自治体もある。本町の今後の生ゴミの再資源化は。

答弁

現時点で受け入れ可能な堆肥化施設がないため、引き続き分別の徹底による可燃ゴミの削減を行っていく。

質問

家畜ふん尿や水産系加工残さ、生ごみなど、再資源化施設は同じものが使用可能。これらを地域の有機系バイオマスとして横断的に再資源化する取り組みは行えないか。

答弁

法律的な取り扱いの違いや、技術的、体制的にも一括した処理は難しい面もある。しかし、近隣自治体も含めて循環型の施設が必要との方向性で検討も始まっている分野もある。

いろいろな既存施設の活用も含めて、今後も検討を進めていく必要がある。



今後大きな改修が必要となるゴミ焼却施設

資源循環型の地域形成で持続可能な強い基幹産業の実現を！

定例会・臨時会のまとめ

令和4年度第4回定例会会議結果報告 別海町企業版ふるさと納税基金 条例の新規制定

第4回定例会の概要

12月12日に招集され、会期を12月16日までの5日間に決定。

1日目 12月12日

町長から行政報告、副町長から提出案件の概要説明など。

町長からの行政報告

- 本年度の除雪体制について
- 新型コロナウイルスに係る医療体制、ワクチン接種状況について
- 産業の動向について
- 菊と緑の会について
- 水産業の状況について
- 商工業について
- 令和4年度別海町優良勤労者表彰について
- ふるさと納税について
- 令和4年度の矢臼別演習場訓練計画について

議案などの内容説明

- 各会計補正予算5件を予算

決算審査特別委員会に付託

- 別海町企業版ふるさと納税基金条例の制定を総務文教常任委員会に付託
- 条例の一部改正7件
- 工事請負契約の締結2件
- 財産の取得（フルコンサートピアノ）
- 公の施設に係る指定管理者の指定
- 専決処分の報告3件

議案に関する主な質疑

- 企業版ふるさと納税について（田村議員）

2日目 12月13日

- 議員6名が一般質問に登壇（6〜11ページ参照）

3日目 12月14日

- 議員2名が一般質問に登壇（12〜13ページ参照）

本会議を休会后、予算決算審査特別委員会を開催。

- 令和4年度各会計補正予算

5件を審査。

予算決算審査特別委員会における主な質疑

- 町民税・庁舎等維持管理経費・児童手当支給事業経費（瀧川委員）
- マイナンバーカード申請促進事業（佐藤委員・中村委員）
- 地域おこし協力隊推進事業・給食センター運営経費（中村委員）

4日目 12月15日

本会議を休会し、各常任委員会を開催。

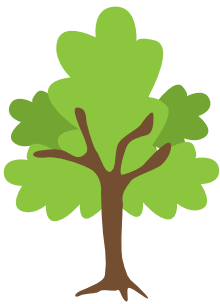
5日目 12月16日

常任委員会、特別委員会付託事件審査結果報告および各議案の討論・採決が行われ、全ての案件が全会一致で可決。各常任委員会閉会中の継続調査事件を決定。

第5回臨時会の概要

10月31日に開催され、令和4年度一般会計補正予算（議案第73号）・水道事業会計補正予算（議案第74号）について可決。

専決処分の報告2件。中春別・道東あさひ・計根別各農協から提出された農業生産資材高騰対策対応に関する請願書について採択、執行機関に送付し、その処理経過と結果報告を請求することに決定。



研修報告・議会のうごき

根室町村議会議長会主催 議員研修会

令和4年10月28日 中標津町・中標津経済センター

4町の議員48名が参加し、熱心に講演に耳を傾け、それぞれの思いを持ち帰りました。

演題は「千島海溝の超巨大地震津波対策～現状と課題～」と題して、北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センターの高橋浩晃教授が講師を務められました。

最近の地震観測では、2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、2018年の北海道胆振東部地震などが観測されています。

根釧で約400年周期で発生するとされる津波を伴う大地震が、前回は1630年代に起こっていると言明され、千島海溝南部では、30年以内にマグニチュード8・8程度以上の地震が7〜40%の確率で起こると警鐘を鳴らされました。

今後の防災戦略には、まちづくりとの融合が必要不可欠であり、事前防災と被災後の

復興まちづくりをセットで官民共同で長期的に進めることが大切と力説されました。

予知ができない地震対策には、起こり得ることを想像し、事前の対策だけが被害軽減につながります。

本町においても、「自分の身を守る・自分の仕事を守る・地域経済を守る」などを意識すること、事前に被災後の復興まちづくり計画を動機付けする重要性を感じ取った研修会でした。



1 議長、副議長、各議員（委員）の動向について

期 日	内 容	備 考
9月18日	釧路・根室の酪農畜産を守ろう！生産者緊急大決起大会（釧路市）	議長
9月28日	岡田内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）来根に伴う関係団体等との要望・懇談会（根室市）	副議長
10月7日	第39回菊と緑の会inべつかい歓迎式（別海町）	正副議長
10月12日	福島県国見町議会行政視察対応（別海町）	正副議長 議会運営委員 議員2名
10月23日	町制施行50周年記念式典及び別海町生涯学習センター落成記念式典・記念演奏会（別海町）	全議員
10月24日	第15回友好都市サミット（別海町）	議長
10月24日～27日	ロシア連邦トロール船操業の即時停止に係る要請行動（東京都）	議長
10月28日	根室町村議会議長会主催議員研修会（中標津町）	議員14名
11月21日	別海町優良勤労者表彰式（別海町）	副議長・議員2名
	別海町表彰式（別海町）	正副議長・議員12名
	第15回根室農業大賞表彰式（中標津町）	議長
11月30日～12月2日	北方領土返還要求中央アピール行動（東京都）	議長
12月2日	別海町文化・スポーツ功労者表彰式（別海町）	副議長・議員3名

2 一部事務組合・広域連合議会について

期 日	内 容	備 考
12月8日	根室北部消防事務組合議会定例会 中標津町外2町葬斎組合議会定例会 根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会（中標津町）	関係議員

シリーズ 町民に 聞きました

健やかな成長に欠かせない学校給食の「いま」

昨年は、コロナ禍の影響やウクライナ問題に端を発した食材費の高騰など学校給食を巡って悩みの尽きない状況でした。そんな学校給食の「いま」を栄養教諭である石下さんにお聞きました。



栄養教諭
いしした ゆうか
石下木綿花さん

広報委員 普段、給食のメニューを考える時に、どんなところに気を配っていますか。

石下さん 栄養バランスなどはもちろんですが、給食は幼児から中学生まで食べるものなので、幅広い年代の子どもたちがドキドキ楽しんでもらえるよう考えています。

広報委員 地元食材について学校給食ではどう取り入れていますか。

石下さん ホタテやホッキなどは、子どもの好き嫌いが出やすい食材でもあるので、カレーに入れるなどメニューの工夫をしています。

広報委員 給食で使ってみたい地元食材はありますか。

石下さん 予算もあるのでなかなか難しいですが、北海シマエビも使ってみたいです。

広報委員 食材の高騰が続いていますが影響はありますか。

石下さん 当初考えていた食材を値上がりの少ないものに変更するなど、栄養バランスを保ったまま、予算にできるだけ影響が出ないようメニューを調整しています。

広報委員 コロナ禍の影響で黙食が必要になっていますが、給食への影響は。

石下さん 給食の時間に学校を訪れる機会が定期的にあります。

子どもたちは、お話しができないので目配せでコミュニケーションを取るなど、以前とは違った形ではありますが、笑顔で給食の時間を楽しんでいます。美味しさや楽しさを言葉で共有しながら、心置きなく給食を楽しめる状況を心待ちにしています。

令和5年3月定例会の予定

3月9日(木) 10時～

1日目 本会議（先議議案説明・質疑など）
予算決算審査特別委員会

3月10日(金) 10時～

2日目 本会議（先議議案採決、行政執行方針説明、議案説明・質疑など）

3月11日(土)～12日(日)

休会

3月13日(月)・14日(火) 10時～

5・6日目 本会議（一般質問）、常任委員会

3月15日(水)・16日(木) 10時～

7・8日目 予算決算審査特別委員会

3月17日(金) 10時～

9日目 本会議（議案討論・採決など）

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

一般質問の傍聴に
きてみませんか？

議会の会議は、誰でも傍聴することができますが、コロナウイルス感染症対策のため、発熱がなくマスクを持参される方に限っていますのでご了承ください。

「密閉空間」「密集場所」「密接場面」3つの**密**を避けましょう！